

民間企業の視点から学校教育について考える

群馬県高校中堅教師資質向上研修グループ協議資料



2022年9月22日(木)

12:30～16:10

群馬県総合教育センター

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 企業が求める人材とは何ですか

A : (1) 自律的に活動する能力をもった人材

①㊦「自己責任」

④「自助努力」

㊵「自分の未来は自分で切り開く」「執念」

②㊦「あきらめない」「めげない」

④「Never Give Up」

㊵「練習は不可能を可能にする」

③㊦「フェアプレイ」(ルールの中でプレイ、いやしいプレイはしない)

④「相手の立場に立って行動する」

㊵「課題を発見」し、「原因を推定」「解決」する能力(とりあえずどうするか「応急措置」と、ゆくゆくはどうするか「システム変更」)

(2) イノベーションの担い手

①今までにあるものや新しいものを組み合わせて、今までになかったものをゼロから作り出し、できるだけ短期間に軌道に乗せるのが「イノベーション」

②この「イノベーション」の担い手、チャレンジ精神

③「失敗を恐れない」「失敗から学ぶ」「すぐ立ち直り、次の行動に移る」

(3) ①「人生は青天井、一生青天井」

②「一生勉強、一生青春」

③「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」

(4) ①「磨き込み」「洗練させる」

②「両利き経営」(仕事は1つだけでなく2つやる)

③「積小為大」(小さいことをコツコツ積み重ねて大きくする)

Q 2 : 学校教育に期待すること

A : (1) 「価値(大切さ)」「意味(意味付け)」「秩序」

① 1つ1つのものごとの「価値」、大切さを「理解」

② 自分にとっての「意味」を考え、「意味付け」

③ ではどうしたらよいか、やるべきこと、やらないことを「自己決定」

自分で決めたルール「秩序」に沿って自分から進んで行動

* 仕事の「価値」を理解し、自分にとっての「意味」を考え、「意味付け」をし、何をして、何をしないかを「自己決定」できないと仕事は進まないから

(2)「勉強の仕方」を身に着けること

- ①「予習の仕方」
- ②「授業の受け方」
- ③「復習の仕方」
- ④「定着の仕方」
- ⑤「テストの受け方」
- ⑥「社会での応用の仕方」



* 社会に出てから、新しいことを学ぶことは数知れない

* 新しいことについて勉強の仕方を身に着けていないと、変化し続ける環境に適応した業務を行うことができないから

(3)「読解力」を身に着けること

- ①「辞書の活用」
- ②「新聞」
- ③「読書」

* 「文章」・「テキスト」・「情報」を「読み解く力」がないと仕事にならないから

* 「図書館の活用法」も大切。

高校時代に図書館に慣れ親しんでいないと、大学図書館や公共図書館を活用できないから

Q 3 : 企業の人材育成

A : (1)① On the Job Training(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)

② Off the Job Training(オフ・ザ・ジョブ・トレーニング)

(2)会議・打ち合せによる情報共有から学ぶ

* 「メモ(ノート)の取り方」ー仕事はメモで身に着けるー

(3)①「競合比較(競争相手から学ぶ)」

②「ベストプラクティスのベンチマーキング」

ー最も優れた仕事から素直な心で学び、できるだけ簡単な形で恐る恐る取り入れることー

③「社内ベストプラクティスのベンチマーキング」

④「同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング」

⑤「異業種のベストプラクティスのベンチマーキング」

③「オープン・イノベーション」

(情報を共有化しながらイノベーションを進めること)

Q 4 : 学校・企業の役割

A : (1)①「学校でのすべての教科の勉強」と「学校での教科外教育活動」は、すべて役立つ

②上級学校と、社会に出てから仕事・社会的活動・豊かな人生を送るうえで役立つ

③一生役立つ

(2)「学校での教科の勉強」と「学校での教科外教育活動」の大切さを、「学校」と「企業」は正確に認識。どこでどのように役立つかの情報を共有化

(3)「児童・生徒」および「社員」に開示し、学校にいる間も、また、社会に出ても「自覚をもって学び続ける」ように励まし続けること

「学校の教科書・教材・ノート・辞書」は決して処分せず、社会に出ても一生学び続けるよう、「学校」「企業」は協力すること

①「本質的理解」は、学校で学んだことを基礎に社会に出てから一生かけて「学び直す」ことにより得られる

②「学校なくして企業なし」「企業(仕事)なくして学校なし」の関係を「磨き込み」、「洗練させる」ことが大切

以上



＜林明夫プロフィール＞

- ・ 栃木県足利市生まれ
- ・ 足利市立山辺小学校、同山辺中学校、栃木県立足利高校、
慶應義塾大学法学部法律学科を各々卒業
- ・ 大学卒業後、29 歳まで慶應義塾大学法学部司法研究室研究生、
29 歳の時、開倫塾を創業、塾長に就任、現在に至る
- ・ 1998 年世界銀行研究所、1999 年ハーバード大学行政大学院国際開発研究所で公
共部門の民営化集中コース修了
- ・ 2004 ～ 2010 年マニー株式会社(手術用縫合針製造)社外取締役
(本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)
- ・ 2004 ～ 2012 年栃木県社会教育委員

＜現在の活動＞

- ①開倫塾日本語学校理事長、開倫ユネスコ協会会長、
日本ユネスコ協会連盟評議員
- ②有朋学園 有朋高等学院理事長(福島市)
- ③宇都宮大学大学院工学研究科客員教授、作新学院大学客員教授
- ④社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑監事(足利市)
- ⑤足利商工会議所議員、
日本商工会議所女性・シニア・外国人材活躍推進専門委員会委員
- ⑥群馬経済同友会会員
- ⑦福島経済同友会会員
- ⑧公益社団法人栃木県経済同友会理事
- ⑨公益社団法人経済同友会幹事(東京)
- ⑩栃木県生産性本部副会長、サービス産業活性化・生産性向上委員会委員長
- ⑪公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員
- ⑫ CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間、林明夫の歩きながら考える」毎週土曜
日午前 9:15 ～ 9:25 放送担当、
今年 3 月で 36 年目
* 社会人を含め「効果の上がる学習方法」について、毎週土曜日にお話してい
ます